

みんなで森をつくる集い!

●第63回埼玉県植樹祭

今日5月20日(日)は、「ウイング・ハット春日部」を会場として「第63回埼玉県植樹祭/みんなで森をつくる集い」が行われ、私は仕事人でなく浦和高校同窓会の一員として参加させていただきました。

朝9時を過ぎ、会場の外では春日部農産物の朝市や林業関係の作品なども展示販売されていました。

【写真①:朝市風景、春日部やきそば、梨入りカレーなど】



アリーナの中では、みどりの再生に関する団体の活動などの展示もあり、埼玉県生態系保護協会春日部支部の皆さんや、首都圏外郭放水路の龍Q館と周辺の自然復活に力を入られているG-CANSの皆さんが活動報告を行っていらっしゃいました。

午前9時30分を過ぎて、アリーナステージでは豊春中学校の皆さんが琴の演奏でお出迎えしてくれました。【写真②:琴の演奏を奏でる中学生達】



10時、式典が始まりました。最初に上田清司埼玉県知事が挨拶されました【写真③】。

「皆さん、こんにちは。今日は、多くの皆様にお越しいただき、第63回植樹祭が、埼玉県、春日部市、公益社団法人埼玉県緑化推進委員会の主催で、この春日部市で行うことができ、主催者の一人として嬉しく思います。森は清らかな空気と水を生み出し、それらは田畑を潤し、私たちの生命を守ってくれています。



環境省が2008年に選定した「名水百選」に、埼玉県では4つの地域が選ばれましたが、全国でもトップクラスの地域でもあります。しかしながら、高度経済成長以降、埼玉県では、この30年の間に約6500haの森を失ってしまいました。これは春日部市の面積と同じ広さであります。

埼玉県では、平成19年から8年間で6500haの森を再生する計画を作り、これまでに3200haの再生をなしえてきたところです。また、行政ばかりではなく、本日、本多静六賞を受賞された浦和高校同窓会、秩父農工、熊谷高校、浦和一女同窓会などの学校関係者や、埼玉りそな銀行、ヤオコーをはじめとした企業の皆さんのご努力下、約270haの森が新たに整備されています。こうした運動の広がり素晴らしいものと考えております。

これまでの植樹祭は、県西部で行われてまいりましたが、これからは県東部地域の都市部でも森を作っていきたいと考えております。春日部市には、新たな森を作る予定であり、都市の緑を増やしてまいります。今後とも、森とともに育ってきた人類、命の源である水、栄養の高い水を生み出す森を育て、命を守っていききたいと考えております。」

*

続いて石川良三春日部市長のご挨拶【写真④】。「春日部市では、平成21年に環境都市宣言を行い、平成23年に



は緑の基本計画で『豊かな水と緑に恵まれ、風光る我がまち・春日部』を基本理念と定め、さまざまな事業を推進しております。現在、埼玉県により大増新田地区に約20haの森が計画されており、都市部における森が整備されていきます。本日も、朝市に多くの生産者の皆さんが参加されていますが、食は人々の生命にとって大切なものであり、食の安全と美味しさを生み出すのも、自然の力であると考えております。春日部市としても、生産者の皆さんと一緒に、環境を守り、豊かな安全で美味しい食の提供を進めてまいりたいと考えております。」

*



続いて表彰になりました。最初は「埼玉県森林整備コンクール」表彰で、13人を代表して最優秀賞を受賞されたときがわ町の**新井仁**一様です【写真⑤】。



続いて「第21回さいたまフォトコンテスト」で埼玉県知事賞を受けられた立川明夫様です。【写真⑥:受賞作品「黄色い歓声」】

続いて「彩の国森林・林業表彰」では、森林づくりや林業の振興に長年尽くされてこられて3人の方々への表彰が行われました。

そしていよいよ「第5回本多静六賞」の表彰です



【写真⑦:式典資料の紹介】。

この賞は、林学や造園学の研究、森林や公園の造成及び指導を通じて多大なる功績を残した本多静六博士の精神を受け継ぎ、緑と共生する社会づくりに貢献した方に贈呈されます。そして受賞者

は、浦和高等学校同窓会・川野幸夫会長でした【写真⑧】。

◆浦和高等学校同窓会の功績

寄居町風布の森林4.6haを借り、平成17年から地元の協力を得ながら森づくり活動「浦高百年の森」を行う。卒業生

と在校生の世代を超えた取組、森づくりのモデルケースを目指しての活動、森の大切さや森を育てることの苦勞と喜びをお互い共有する試みなど、他の森づくりの模範となっている。「浦高百年の森」は、学校・同窓会の森づくり活動の先駆けとなり、この活動の広がり（熊谷高校、浦和一女、秩父農工）への貢献はとても大きい。これまでの実績、参加者延べ2,192名（うち生徒272名）、植樹2,473本。

今回、この表彰式のために、浦高同窓会の皆様が約30名参加してくださいました。遠くは町田市から来られた先輩もいっしょり感謝です。(^^)



続いて来年の秋に行われる「第37回全国育樹祭開催の概要」が説明され、「育てよう みどりは未来の たからもの」の大会テーマや、シンボルマーク、ポスター原画の表彰が行われました【写真⑨】。

続いて春日部市立八木崎小学校の皆さんの「身近な自然観察や山村での林業体験」の報告がありました。【写真⑩:大きなパネルを使って報告する生徒達】



最後は春日部市立谷原中学校の皆さんによる「緑を広げていくためのドングリ播き 心を込めて大切に…」でした【写真⑪:牛乳パックで育てます】。



午前11時を過ぎて、記念植樹会場に出て川野会長を囲んで、同窓会参加者の皆さんで記念撮影です。【写真⑫:全員にお声かけできず申し訳ございません】



そして、皆さんに記念植樹をしていただきました【写真⑬⑭】。皆さん低木の植栽で寄



居町風布より手応えがなく、少々がっかりのご様子でしたが…。感謝！

